

# 仙台司教区

# 教区事務所だより



(第 6 号)

昭和51年11月1日

## 新儀式書公布間近！

### ―ゆるしの秘跡―

今まで、「告解」の名で親しまれて来た秘跡は、これからは「ゆるしの秘跡」と呼ばれ、十一月の司教会議で発効日が定められて、新しい儀式書が公布されようとしています。

司教典礼委員会では、出来れば、今年の待降節から実施したいと考えています。

呼び名が変わっても、その本質が変わったわけではありません。新しい儀式書は、次のことを強調しています。

1. 神の呼びかけ  
キリストは、福音を述べ始めた時から人々が神に立ちかえるように呼びかけました。その呼びかけに応え

る人間の態度の表明が洗礼です。その後で罪を犯して神から離れた者が再び神に心を向けて、ゆるしを願う場が、「ゆるしの秘跡」です。私たちの心を促す神の呼びかけが強調されています。

### 2. 神の恵み

御父が創り、そして恵み、御子が秩序を回復し、聖霊が愛に生かして下さいます。神が私たちを御自分に引き寄せ、神の生命を注いで下さるので、罪がゆるされます。そして悔い改めは、私たちの力の源の第一歩です。神様の呼びかけは恵みであることが強調されています。

3. 「ゆるし」による教会との和解  
どんなに隠れたものでも、罪は兄弟を傷つけるものです。神の呼びかけに応える者は、「全能の神と兄弟

## 十一月の

司教様の日程（十月二十日現在）

- 一 日 ケベック会月例会出席
  - 三 日 シヤルトル聖パウロ修道女会仙台修道院祝別
  - 六 日 四ツ家教会研修会指導
  - 七 日 四ツ家教会堅信式
  - 九、十一日 臨時司教総会
  - 十四日 千厩教会堅信式
  - 十七、十九日 仙台司教区修女連院長  
研修会
  - 二十一日 郡山教会堅信式
  - 二十八日 弘前教会（含黒石、五所川原、大清水ホーム）  
堅信式
  - 二十九日 教区司祭団月例会
- ~~~~~
- の皆さんに告白」してゆるされるのです。これは、兄弟の目に見える代表者である司祭のところに行つて告白することにより、実現します。
- 新しい儀式書が実施される前に、教会は、これら強調されているところが信者によく理解され、待降節には、よく利用されるよう希望しています。

人事往来



◎ 十月十五日、聖ドミニコ会管区長、ポリュー師（東京在住）は、管区総会に出席のためカナダに帰国していたが、この程帰日。報告かたがた、あいさつのため来仙した。

◎ 十月十五日、ドミニコ会士ファルリー師が、あいさつのため事務所に司教を訪問した。師は、聖ドミニコ会ローマ中央本部に属し、同会の男子、女子、第三会、各会の相互連絡、調整の任にあり、活動推進部門の担当者で、今回、仙台ドミニコ第三会、盛岡の女子修道会を訪問するため、仙台司教区を訪れたもの。

◎ 十月十九日、善き牧者会総評議員、スール・インマクラータ姉（スリランカ。善き牧者会アジア地区代表）は、日本視察のため、来日、訪仙。東仙台司教館に、司教を尊敬訪問された。

◎ 十月十九日、元ケベック宣教会管区長ポリュー師（同会総長補佐）は、日本視察のため来日、事務所に

司教を訪問した。同師は同会管轄下にあるインド布教地を視察の予定。

★ ★ 二情報 ★ ★



福島県カトリックの集い

九月二十三日、「第七回福島県カトリックの集い」が、県下諸教会から三〇五名の参集を得て、平市市民会館で盛大に行なわれた。

「共に祈り、語り、楽しむ」をモットーに、第一部では、佐藤司教を中心に、司祭十二名の共同司式によるミサを共に奉献して祈り、第二部では、森田宗一氏の基調講演「魅力ある教会と信徒の在り方」をテーマに、四つの会場に別れて語り合い、第三部では、幻の名画といわれた無声映画『日本二十六聖人』を観賞、共に楽しみつつ往年の信仰の勇者たちをしのんだ。

当日は、京都被選司教の叙階式とカチ合、佐藤司教の大会への出席は危ぶまれていたが、司教は、叙階

式には代理を派遣し、集いに出席された。

助祭 叙階式

十月十一日、東京大神学校に在学中のポーロ首藤正義神学生（米川教会出身、30歳）と三木ポーロ渡辺彰宏神学生（郡山教会出身、29歳）の両神学生は、十一日午後二時、元寺小路司教座聖堂で、参列者と共同司式司祭の祝福のうちに、佐藤司教により助祭に叙階された。

マリア祭

両師は、共に、昭和三十五年大阪小神学校に入学。同四十一年東京大神学校に進み、現在神学四年生。司祭への叙階は来年に予定されている。ロザリオの月を迎えた十月十七日、一関教会で、ファチマの聖母像の除幕式、祝別式が、午前十時から佐藤司教により行なわれ、参列司祭の共同司式ミサが献げられた。岩手県下、宮城県北の諸教会から、又遠く青森の教会の信徒代表も参列して、聖堂は、コーラス席まで一杯の盛況だった。東京関口教会の志村辰弥師の、

「マリアの崇敬について」の話の後、分科会に別れて、どのようにマリアの崇敬を生活に生かし得るかを話し合い、後、ローネル師司式のロザリオの祈り、降福式をもって午後四時閉会した。

祝別された聖母像は、水沢教会ローネル師の斡旋によって、「聖母の崇敬を深め、ロザリオの信心をより一層高めてほしい」と願っているスイスの一婦人信徒から贈られたもの。高さ一メートル四〇センチの木彫の聖母像である。

司教区名儀幼稚園  
学法化問題のその後



今年の四月一日、私学振興助成法が施行されて、今年度から補助金の下付が可能になった。各県は、予算措置を講ずる必要から、この八月から九月にかけて、五年以内の一時期を定めて幼稚園を学法化するという確約書、又は誓約書を添えて学法化計画書を提出するよう、各県下個人立、宗法立幼稚園に求めて来た。

仙台司教区名儀の幼稚園は、東北四県に42園を数え、これらの幼稚園を学校法人化するかしないかということは、司教区の布教、司牧、財政に大きな影響をもたらすものだけに検討を要する事柄が多く、早急な判断は下せる状況にない上に、計画書提出は期限が切られていたので、一時苦境に立たされた。

しかし、九月三十日、宮城県が行なった学法化に関する説明会や、岩手県への問い合わせの結果、補助金を受領しないのであれば、必ずしも今年度、学法化の最終的決定を下す必要はなく、来年でも再来年でも、補助金を受領した時点から五年以内に学法化すればよいということがわかり、司教区は、①岩手県、宮城県に關しては、今年度は補助金を受領せず、学法化の決定を一年延ばすこと。②既に補助金を受領してしまった青森県下の教区名儀の幼稚園については、学法化の決定については検討をつづけつつ、受領してしまっただけの補助金に關しては、教区と話し合いの上、その返還か受領継続かを決めることにした。

この決定は、学法化問題に關して一時、時間をかせいだ形であり、来年度補助金申請時期までには、鋭意検討を重ねて、学法化の最終決定を下さねばならず、一方、青森県下の幼稚園の受領してしまっただけの補助金に關しては、更なる措置を決めねばならない問題を残している。

✿✿✿✿✿✿✿✿  
キリストにおける兄弟

アリガトウ！



十月十七日、夕方、元寺小路教会信徒館で、時ならぬトンガの踊りと歌が披露された。

数か月前のこと。ある未知の人から教区事務所に電話があった。

「私は信者ではありませんが、同室のトンガの女の人が、白いパンを欲しがっています：：」

言葉もままならぬ異郷に病臥したトンガの踊り子は、トンガの王様から派遣された男四人、女五人から成るカトリック信者の踊子グループの一人だった。仕事の関係で、日曜日御ミサにあずかれないこのグループ

のために、ジョリコール師は、週に何度か御聖体を持ち、御ミサを献げに通った。帰国を間際に、ぜひ聖堂でミサにあずかりたいという希望がかなって、十月十七日午後四時、英語ミサが献げられ、トンガの踊り子たちによる堂々とした張りのある歌

カリタス・ジャパン緊急災害

救援基金募金抽選 当選番号

- 一等 二〇〇一八
  - 二等 〇六六一〇 二〇二一六
  - 三等 〇五九四〇 二〇六五八
  - 四等 〇一四八八 〇三五六四
  - 〇三九五〇 一五一三八
  - 二〇九二二 二二五四五
  - 五等 下三ケタ 三五三
  - 六等 下二ケタ 五七
- (各組共通)

★賞品有効期間

昭和51年11月30日まで(以後無効)

★一等〜四等までは、カリタス・ジャパンに直接申し出て結構です。

★五等〜六等は教会ごとに、まとめて申し出て下さい。

★賞品は、抽せん券と引き換えです。

声が、聖堂を圧した。居合わせた婦人たちが、「私たちも、これだけ歌えたら：：」と嘆息する程の歌だった。

収益はすべて、王様に送られると聞いた教会では、早速彼らのために募金が始められ、ミサ後、彼らにお土産の山が――。

キリストを中にした、言葉も通じない人々との心の交わりの一こまだった。

移住の日(九月十二日)

献金集計状況

(十月二十日現在)

- 青森地区(10教会) 六二、二四〇円
- 岩手地区(12教会) 九、〇二五円
- 宮城地区(10教会) 六九、九八八円
- 福島地区(11教会) 六六、四二四円

合計 二八九、六七七円

昨年度の集計は二七三、〇〇六円でしたから、一六、六七一円上まわっています。まだ送金されていらない教会は早目にお願ひします。布教の日献金の送金もよろしく。

☆☆心のともしび運動

チャリテイー抽せん ☆☆

テレビやラジオなど、マスコミによる宣教の一助として、「心のともしび」運動を推進する仙台YBUでは、電波料その他多くの資金を要しますので、資金援助のためのチャリテイー抽せん会を十二月十二日に行なうため一枚二百円(七枚綴一冊千円)の抽せん券を発行しています。

クリスマスを前に、各教会で計画がとおりでしょうが、そのためにもYBUの抽せん券をご利用下さい。一枚二百円で各人にわけ、千円をYBUに、四百円をご自分の会の費用にあてて下さい。

- (一等) トヨタスターレット、四ドア、ハイ・デラックス
- (二等) 二名を香港に招待(カナダ太平洋航空 トリーガデン四泊)
- (三等) 東芝カラーテレビ18型

その他、豪華景品多数

詳しくは、仙台YBU文化センター

(電話 仙台六一局五三四一、仙台中央郵便局私書箱一一四) ☆☆☆☆☆

.....

仙台司教区事務所だより第6号

昭和五十一年十一月一日発行

発行所 仙台司教区事務所

〒980 仙台市本町一丁目2番12号

TEL 02222 22 7371